

緑区将来ビジョン

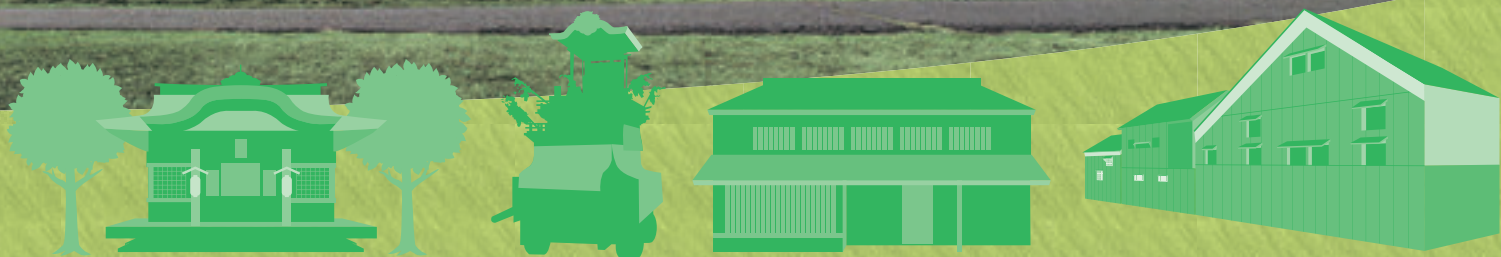
令和2年度～令和5年度

笑顔のあふれるまちをめざして



令和2年5月

名古屋市緑区役所



緑区民の皆さまへ

緑区では、このたび、令和2年度から5年度までの緑区のまちづくりの指針となる「緑区将来ビジョン」を策定しました。このビジョンは、めざすべき区の姿を明らかにし、その実現に向けた中長期の取り組みを体系化したものです。

計画の策定にあたりまして、「緑区区民会議」をはじめ、様々な立場の皆さまからご意見をお寄せいただき、誠にありがとうございました。

緑区の人口は、市内最多で25万人が目前となっています。そうした中、安心・安全で誰もがいきいきと暮らしていけるまちをめざしていきます。また、緑区には魅力ある歴史・文化資源が豊富であることから、区民の皆さまが地域の誇りと愛着を感じられるよう魅力を発信していきます。これらの取り組みを進めていくにあたっては、持続可能な開発目標(SDGs)の理念を踏まえていきます。

区民の皆さまと一緒に、「笑顔のあふれるまちをめざして」住みよい緑区をつくっていきたくと考えていますので、ご支援とご協力をお願い申し上げます。



令和2年5月 緑区長 菊池 文泰



区のシンボルマーク



みどりの「み」と木の葉をデザイン化したもので、緑区が無限に成長する願いも込められています。

区のマスコット・キャラクター／みどりっち



緑区の「みどり」と「豊か＝リッチ」をあわせ命名され、緑区の魅力をPRするため、各種イベントで活躍しています。平成26年度に区役所にモニュメントが完成!!

区の木／カエデ



秋の庭園を彩るイロハモミジは、カエデを代表する木です。4月から5月にかけて、暗赤色の小さな花が、やや垂れ下がって咲きます。

区の花／ミヤコワスレ



本州以南の山地に自生するミヤマヨメナの園芸品種です。夏の初めに咲く多年草で、濃紫色花のほか淡紅色花・白色花などがあります。

目 次

序 緑区ってどんなまち？	P 1 ～ 2
--------------	---------

① 将来ビジョン策定の考え方	P 3 ～ 4
----------------	---------

- (1) 策定の趣旨
- (2) 基本目標とめざすべき将来像
- (3) 位置づけ(性格)
- (4) 計画期間

② めざすべき4つの将来像

将来像1 安心・安全で快適に暮らせるまち	P 5 ～ 8
----------------------	---------

- 施策 1 安心・安全で災害にも強いまち
- 施策 2 環境にやさしく快適なまち
- 施策 3 地域をつなぐ絆づくり
- 施策 4 協働によるまちづくり
- 施策 5 便利で住みよいまち

将来像2 子ども・高齢者・障害者 誰もがいきいきと暮らせるまち	P 9 ～12
------------------------------------	---------

- 施策 6 子どもの健やかな育ちを支えるまち
- 施策 7 人にやさしい福祉のまち
- 施策 8 健康づくりができるまち

将来像3 魅力にあふれ歴史・文化を大切にするまち	P13～16
--------------------------	--------

- 施策 9 魅力の発信と観光推進
- 施策10 歴史・伝統の継承
- 施策11 文化・芸術・スポーツ活動の支援

将来像4 親しまれ信頼される区役所づくり	P17～18
----------------------	--------

- 施策12 快適な市民サービスの提供
- 施策13 区役所機能の強化

③ 緑区 3つの重点プロジェクト	P19～20
------------------	--------

緑区ってど



1 新海池公園



2 ユメリア徳重



3 みどりが丘公園



4 松尾芭蕉ゆかりの千鳥塚



5 有松の町並み



6 酒造りの町並み



7 大高緑地



8 桶狭間古戦場公園

んなまち？

緑区の特徴

強み

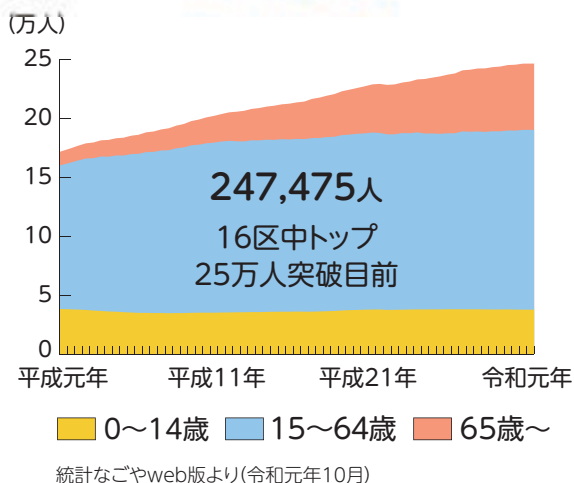
- 人口が市内最多で、今後も増加が見込まれる
- 年少者人口(0～14歳)が市内最多である
- 健康寿命が市内で上位である
- 歴史・文化資源が豊富である
- 公園、緑地が多い
- 都心への交通アクセスが複数ある(地下鉄、JR、名鉄)

弱み

- 人口増加による行政需要の高まりに行政の体制が追いついていない
- 要介護認定者数の増加が見込まれる
- 豊富な魅力が十分に発信されていない
- 起伏に富んだ地形のため、多様な防災・減災対策が必要である
- 区内をつなぐ交通網に課題があり、自動車頼みである

増え続ける人口

緑区の人口



高齢者が元気

健康寿命

区 分	男	女
名古屋市	79.48年	83.72年
緑区	80.50年	84.60年
緑区の順位	市内3位	市内2位

名古屋市健康福祉局資料(平成29年)

歴史・文化資源が豊富

緑区の文化財等の件数

国指定文化財
6件

県指定文化財
3件

市指定文化財
11件

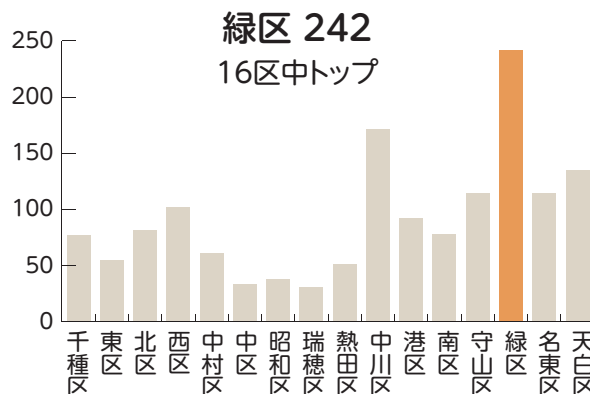
日本遺産
1件

国登録文化財
25件

名古屋市集計(令和元年12月)

公園が多い

各区の公園数



1 将来ビジョン策定の考え方

(1) 策定の趣旨

将来ビジョンは、区を取り巻く社会状況を踏まえ、めざすべき区の姿を明らかにし、その実現に向けた中長期の取り組みを体系化するものです。

区のあり方基本方針(平成29年3月)

3 区行政を推進する仕組みづくり

(1) 企画調整機能の強化

① 区将来ビジョンの策定

区を取り巻く社会状況を踏まえ、めざすべき区の姿を明らかにし、その実現に向けた中長期の取り組みを体系化した、区将来ビジョンを策定します。

(2) 基本目標とめざすべき将来像

「笑顔のあふれるまちをめざして」

将来ビジョンの策定にあたっては、これまでの区政運営方針に掲げてきた「笑顔のあふれるまちをめざして」という理念を今後も継承し、推進します。

本ビジョンは、緑区の現状や地域の課題を踏まえた上で、緑区のめざすべき将来像を描くとともに、その将来像の実現に向けて取り組む施策等を示しています。

(3) 位置づけ(性格)

将来ビジョンは、区における独自施策や区で展開する名古屋市の各局施策のうち区の特色を生かした施策をまとめ、名古屋市総合計画2023と整合性を図りながら、中長期の施策の方向性をまとめたものであり、区における個別計画として策定します。

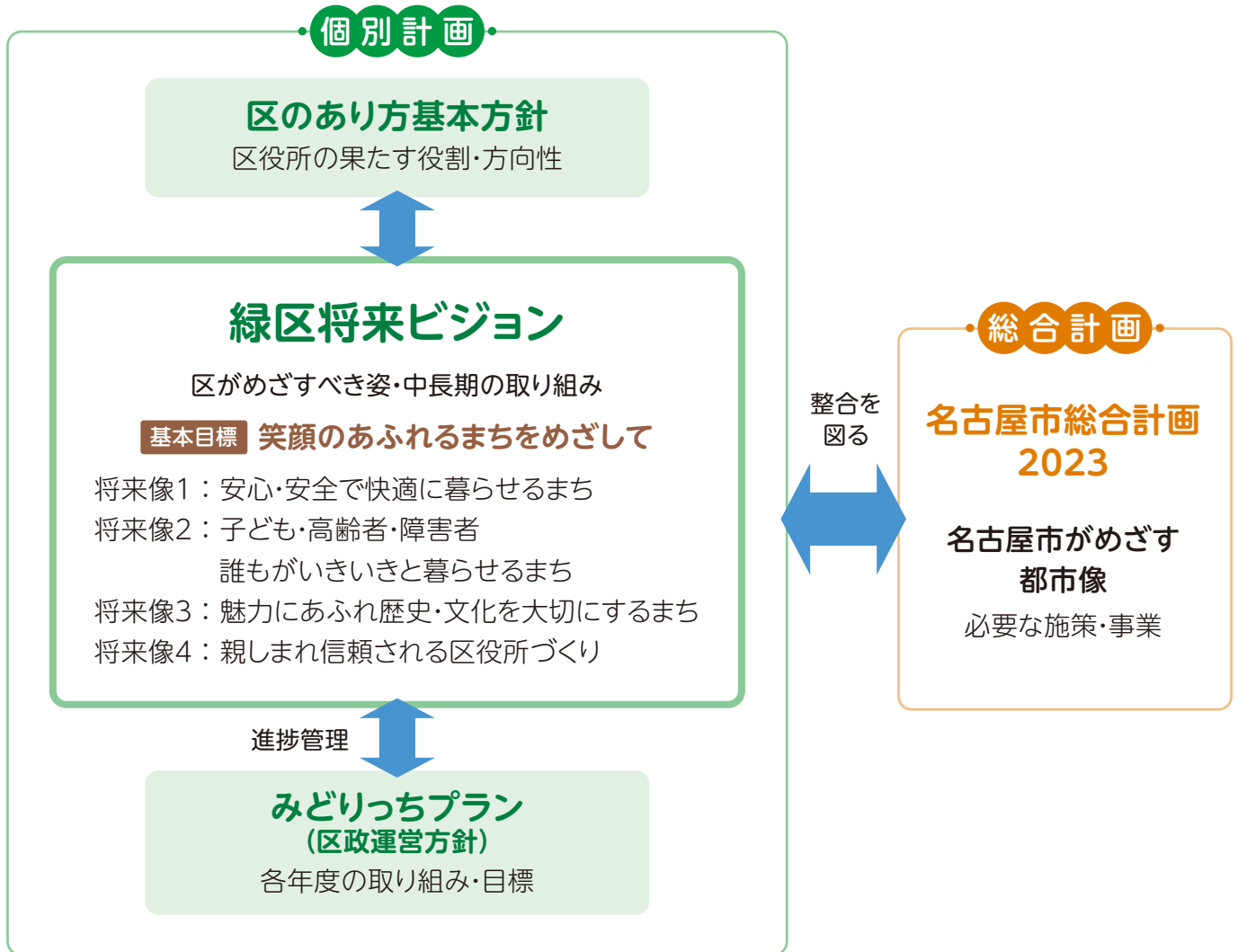
区政運営方針は、その方向性に基づき、年度ごとの具体的な取り組みを掲載します。

また、名古屋市総合計画2023においては、持続可能な開発目標(SDGs)の要素をしっかりと反映し達成に率先して取り組むことにより、誰一人取り残さない、経済・社会・環境が調和した持続可能で強靱な都市を構築していくこととしていますので、緑区においても、SDGsの理念を踏まえながら、取り組みを進めていきます。

(4) 計画期間

令和2(2020)年度から令和5(2023)年度までの4か年計画とします(名古屋市総合計画2023と終了時期をあわせます)。

将来ビジョンと総合計画との関係図



SDGsとは、Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)
の略で、2016年から2030年までの国際目標です。



2 めざすべき4つの将来像

将来像1 安心・安全で快適に暮らせるまち

現 状 と 課 題

現 状

- ① 安心・安全で快適なまちづくりを推進するため、防犯・交通安全・違法駐車対策・放置自転車対策に、地域住民との連携・協力のもと取り組んでいます。

火災発生件数

令和元年 **22**件
(平成26年比△34件)

刑法犯総数

令和元年 **1,428**件
(平成26年比△1,008件)

特殊詐欺被害

令和元年 **26**件
(平成26年比+4件)

交通事故件数

令和元年 **870**件
(平成26年比△410件)

- ② 管理が適切でない空地や空家の所有者などに対し、適切な管理を促しています。
- ③ 南海トラフ沿いで今後30年以内に大規模地震が発生する確率は70～80%と言われています。近年、各地で多発している大型台風・集中豪雨による被害や、頻発する大規模地震に、住民の災害対策に対する関心も高まっています。
- ④ 盛土部分の滑動崩落や天白川沿いの一部地域での津波による浸水に注意が必要です。風水害においては天白川・扇川の河川氾濫や内水氾濫、そして土砂災害に注意が必要です。
- ⑤ 自助・共助・公助による被害の軽減をめざして、訓練や啓発活動をすすめています。

(緑区における南海トラフ巨大地震の被害想定)

～あらゆる可能性を考慮した最大クラスの地震発生の場合～

出典:平成26年 名古屋市「南海トラフ巨大地震の被害想定について」

想定震度

最大震度 **7**

最高津波水位

2.0m以上～**3.0m**未満

死者数

約**200**人

建物全壊(うち火災によるもの)

約**3,000**棟(約1,000棟)

- ⑥ 資源・ごみの分別及び生活環境改善などの課題について、地域住民との連携・協力のもと取り組んでいます。
- ⑦ 町内会・自治会への加入促進を図ることにより、地域の絆づくりと協働によるまちづくりを推進しています。
- ⑧ 鳴海駅前再開発事業完了後の姿を見据えたまちづくりを、地域住民の意見を踏まえて関係機関と連携してすすめています。



課 題

- 1 一人ひとりが防犯・交通安全の意識を高く持ち、犯罪被害者や交通事故の被害者・加害者にならないよう注意するとともに、地域ぐるみで犯罪・交通事故を防止する環境づくりが必要です。
- 2 周辺に悪影響を及ぼしている空地や空家の所有者などに対して適正管理を促し、近隣住民の快適な住環境の確保に努める必要があります。
- 3 過去に起きた災害の教訓を活かし、防災訓練や防災イベントなどによる啓発活動や情報発信ツールの活用などにより、更なる防災意識の向上に努める必要があります。
- 4 土地条件や歴史的な町並みなど様々な地域特性から想定される災害リスクを共有し、地域住民と連携して被害の縮小に向けた防災対策をすすめる必要があります。
- 5 高齢者、障害者、乳幼児及び外国人など、災害時に配慮を要する方に対する防災・減災対策を、関係機関と連携してすすめていく必要があります。
- 6 転入者・外国人の増加に伴い、住民に対して正しい資源・ごみの分別及び排出方法の理解を促し定着を図る必要があります。
- 7 地域の絆づくりと協働によるまちづくりをより一層推進するため、転入者・外国人も対象に、町内会などへの加入促進を図る必要があります。
- 8 事業中の鳴海駅前再開発、道路・公園の公共施設整備及び宅地開発などの市街地整備をすすめていく必要があります。

施策の展開

区民や関係団体などと一緒に「安心・安全で快適に暮らせるまち・緑区」をめざして、防犯・交通安全・防災など、様々な取り組みをすすめていきます。



成果指標

指 標	直近の 現状値	目標値 令和5年度
犯罪がなく安心して暮らせると思う人の割合	76.6%	86%
家庭内において災害に対する備えをしている人の割合	57.8%	100%
地域活動やボランティア・NPO活動に参加している人の割合	42.2%	48%



交通安全の活動



防災フェスタ



みどりっちポスト



緑区区民まつり

将来像2 子ども・高齢者・障害者 誰もがいきいきと暮らせるまち

現 状 と 課 題

現 状

- ① 子どもの出生数、年少者(0～14歳)人口及び保育所の数について、いずれも市内16区で第1位となっています。

若い世代の子育てに関する不安を軽減し、地域全体で子育てを見守る子ども会や子育てサロンの支援などの施策を推進しています。

子どもの出生数

2,284人(第1位)
(平成30年10月から令和元年9月)

年少者人口

37,630人(第1位)
(令和元年10月1日)

保育所数

68(第1位)
(平成31年4月1日)

- ② 高齢者(65歳以上)人口は市内16区で第1位ですが、高齢化率は市内16区で第14位です。また、高齢者の要介護・要支援認定者数は市内16区で第2位ですが、要介護・要支援認定率は市内16区で第16位となっており、比較的元気な高齢者が多くなっています。

若いうちから健康と向き合い、いきいきと幸せに暮らせる「健康志向のコミュニティづくり」に着目した、区独自の「緑区地域包括ケア推進プラン2019」を策定しました。

高齢者が様々な社会活動に参加し生きがいをもって生活できるよう、老人クラブなどの支援を推進しています。

高齢者人口

56,165人(第1位)
(令和元年10月1日)

高齢者の要介護・要支援認定者数

9,656人(第2位)
(令和元年9月30日)

高齢化率

22.8%(第14位)
(令和元年10月1日)

高齢者の要介護・要支援認定率

17.3%(第16位)
(令和元年9月30日)

- ③ 障害のある人もない人も、人格と個性を尊重し合いながら共に生きる地域社会の実現をめざして障害者施策を推進しています。

緑区自立支援連絡協議会などの活動を通して、障害のある人やその家族、支援団体や関係機関と連携しています。

- ④ 生活習慣病予防のため、運動の習慣化や健康意識の向上をめざし、健康教室や出張相談など身近な地域で開催しています。

健康についての区民の意識が高まっており、子育て中の方など、若い世代から参加可能な健康づくり事業を推進しています。

健康寿命(*1)	診療所数
男 80.50年(第3位) 女 84.60年(第2位) (平成29年)	180(第3位) (平成31年3月31日)

(*1) 介護保険制度の要介護2以上を不健康として健康寿命を算出(平成29年名古屋市健康福祉局資料より)

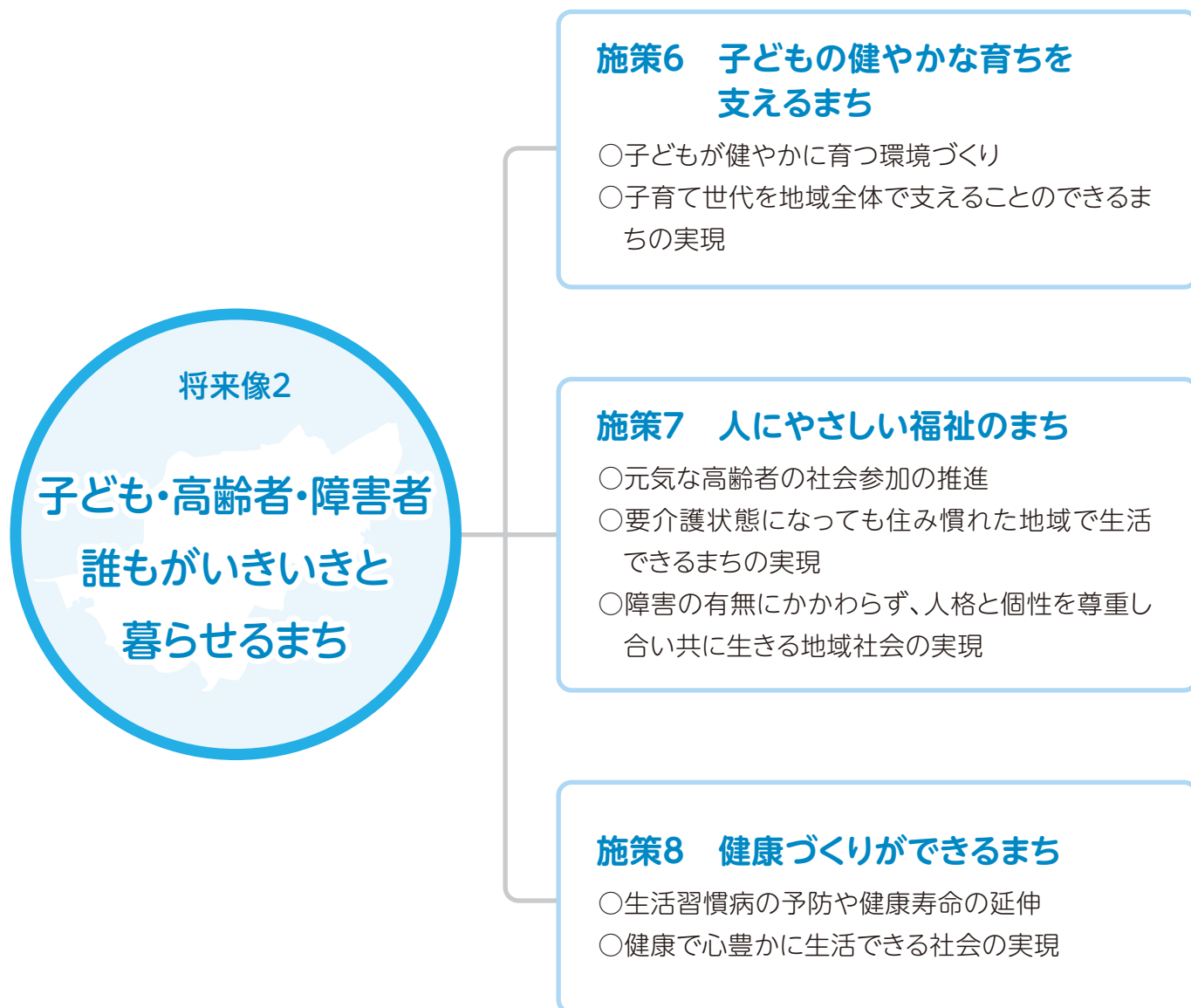


課 題

- 1 子どもが健やかに育つように、安心して子育てができる環境づくりをすすめるとともに、子育て世代を地域全体で支えることのできる仕組みづくりが必要です。
- 2 要介護状態になっても、住み慣れた地域で生活できる仕組みづくりと、元気な高齢者の社会参加をすすめる施策が必要です。
- 3 障害のある人もない人も、人格と個性を尊重し合いながら共に生きる地域社会を実現する取り組みが必要です。
- 4 健康で心豊かに生活できる社会をめざし、生活習慣病の予防や健康寿命を伸ばし、生活の質の向上を支援するなど、健康づくりに関する取り組みが必要です。

施策の展開

子ども・高齢者・障害者、すべての人々が人格と個性を尊重し合いながら、お互いに支え合い、いきいきと暮らせることのできる共生社会の実現に取り組みます。



成果指標

指 標	直近の 現状値	目標値 令和5年度
子育てしやすいまちだと思ふ人の割合	84.9%	86%
生きがいや楽しみを持って生活していると 感じている高齢者の割合	78.3%	80%
健康寿命	男 80.50年 女 84.60年	平均寿命の延びを 上回るよう延伸



ミニ赤ちゃんまつり



脳トレみどりの活動



ロコモ予防教室



障害のある人もない人も
共につくる緑区民のつどい

将来像3 魅力にあふれ歴史・文化を大切にするまち

現 状 と 課 題

現 状

- ① 緑区には、歴史・文化資源が豊富にあります。また、伝統的工芸品に指定されている有松・鳴海絞や伝統野菜の大高菜をはじめとして、古くから伝わる伝統産業・食文化も大切に守り続けられています。

なかでも、有松の町並みについては、地域住民の努力が実を結び、平成25年に無電柱化が実現され、平成28年7月には名古屋市で唯一となる国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されました。また、令和元年5月20日、日本遺産として「江戸時代の情緒に触れる絞りの産地 ～藍染が風にゆれる町 有松～」が認定されました。



鳴 海

- 東海道の宿場町、鳴海宿の高札場
- 松尾芭蕉が何度も訪れたゆかりの史跡（千鳥塚、最古の供養塔）

有松・鳴海絞

国の伝統的工芸品に指定されており、絞りの様子は、浮世絵や東海道中膝栗毛などでうかがわれる



有 松

- 町家や土蔵などがある伝統的な町並み
- 重要伝統的建造物群保存地区に選定
- 日本遺産に認定

日本武尊の神話

氷上姉子神社や成海神社などに、日本武尊まつわる故事・史跡が残っている

山車

からくりや笠鉾など、個性あふれる山車の数々が地域のお祭りを盛り上げる

大 高

- 戦国城下町の名残
- 市内では5軒になった蔵元のうち3軒が残る
- 松平元康(後の徳川家康)が兵糧入れを行った大高城跡



大高菜

あいちの伝統野菜
江戸時代末期の書物に大高の名産と記されるほど古くから栽培されている



桶狭間

- 織田信長の天下統一の第一歩となった「桶狭間の戦い」の舞台
- 今川義元最期の地と伝わる田楽坪（現在の桶狭間古戦場公園）

- ② 市内16区で唯一の観光に特化した協議会である「緑区観光推進協議会」を設立し、緑区をおもてなしの心にあふれ、魅力ある観光地域として発展させるため、散策マップ・観光パンフレットの作成やまちかど案内所の設立などに取り組んでいます。

平成31年1月に魅力向上・発信シンポジウムを開催して、魅力を発信する冊子「緑区魅力発見・まるっと発信!」を披露するなど「住みたいまち 訪れたいまち 緑区」をめざして緑区の魅力向上・発信に努めています。

令和元年度には、緑区観光推進協議会における地域との協働により、緑区の魅力を効果的に発信する緑区プロモーション映像を制作しました。

観光ボランティアガイド利用者数

9,768人
(令和元年)

- ③ 緑区に住んでよかったと思うことができるよう、文化・芸術に親しむ機会の提供や、スポーツに親しむことのできる環境づくりのため、緑区民美術展や緑区民舞台発表会、各種スポーツ大会をはじめとしたさまざまな催しや大会を開催しています。

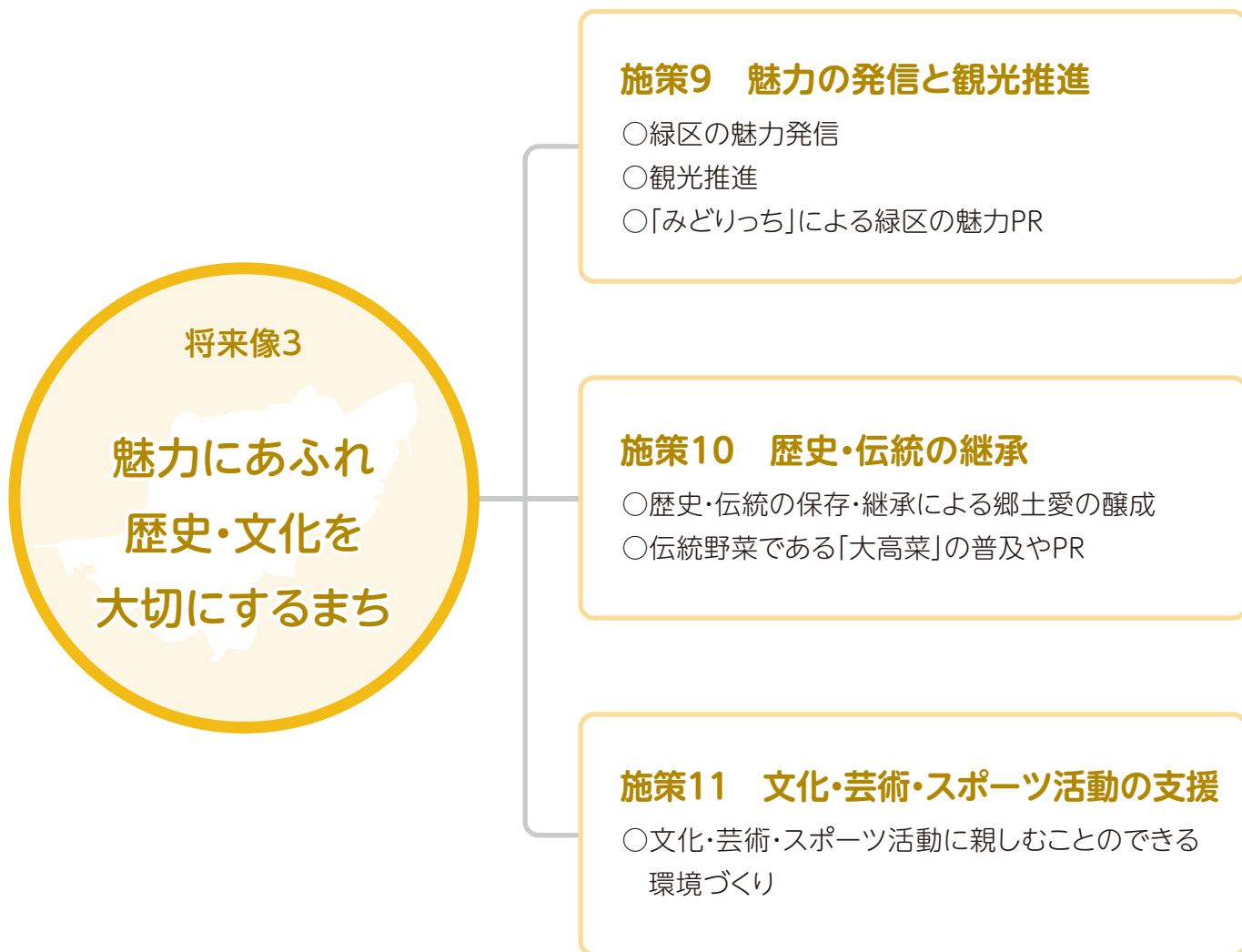


課題

- ① 一人ひとりが緑区の歴史的な魅力に関心をもつことができ、地域への誇りと愛着を感じられるような取り組みが必要です。
- ② 緑区の魅力を発信するとともに、魅力ある観光地域にしていく必要があります。
- ③ 文化・芸術・スポーツ活動に親しむことができる環境づくりに取り組む必要があります。

施策の展開

緑区の魅力を向上・発信していくとともに、区民や関係団体などと一緒に地域観光推進、歴史・伝統の継承、文化・芸術・スポーツ活動の支援に取り組んでいきます。



成果指標

指 標	直近の 現状値	目標値 令和5年度
緑区の魅力や歴史・文化で区外の人に紹介したいものがある人の割合	47.8%	65%
週1回以上の頻度で運動・スポーツを実施する人の割合	39.0%	48%



緑区のプロモーション映像が
ご覧いただけます



緑区の魅力発信



「みどりっち」による緑区の魅力PR



史跡散策会



グラウンド・ゴルフ大会

将来像4 親しまれ信頼される区役所づくり

現 状 と 課 題

現 状

- ① 区役所は区民に最も身近な行政機関として、親切でわかりやすく利便性の高い窓口サービスの提供に努めてきました。

区民意見を区政に反映させるとともに、インターネット(緑区ウェブサイト・フェイスブック・Instagram)をはじめ情報発信の充実を図っています。

保健所を市役所に置き、区に保健所支所(保健センター)を置いて、健康危機管理にかかる指揮命令系統を強化しています。

令和元年度からは保健センター業務の精神・難病関係などの福祉制度利用に関する受付窓口を、区役所庁舎内に移設しました。

みどりっちプランの取り組みについて
「十分」「おおむね十分」と答えた方の割合

61.7%
(令和元年)

- ② 多発している集中豪雨や頻発する大規模地震を受け、住民の災害対策に対する関心が高まりつつあり、大規模災害発災時に「公助」の中心となる職員の災害対応能力の向上が求められています。

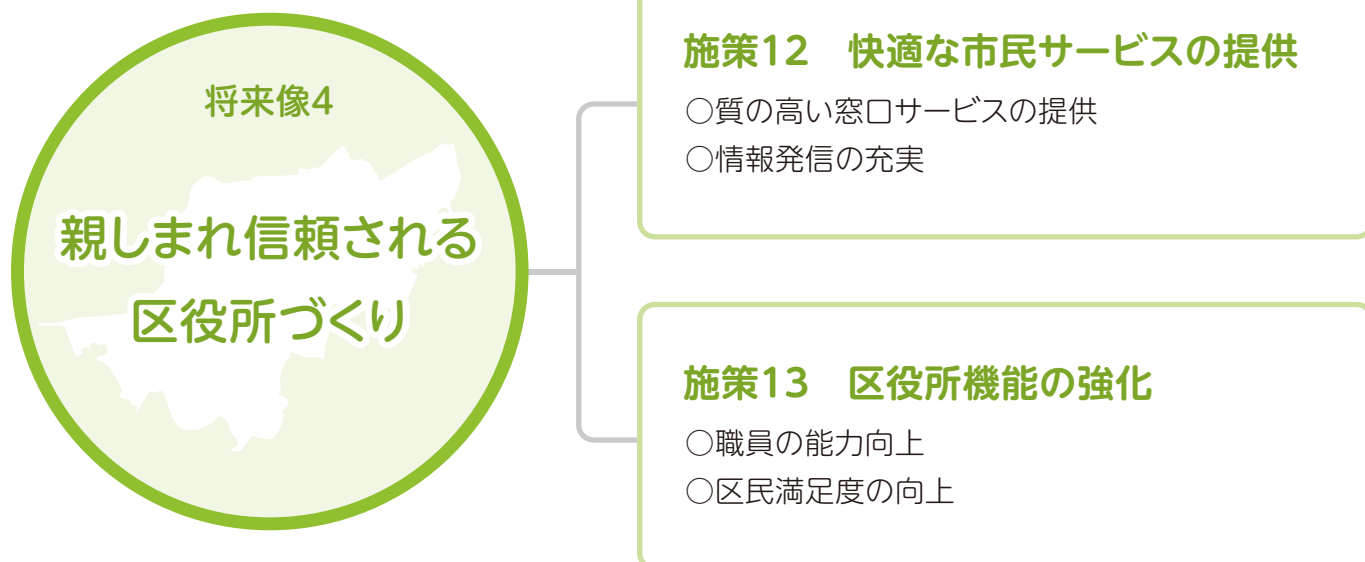
課 題

- ① みどりっちプランの取り組みについての区民の満足度をより高める必要があります。
- ② 職員の災害対応能力の向上が求められています。

め ざ す ま ち の 姿

施策の展開

質の高い窓口サービスの提供や情報発信の充実とともに職員の能力向上を図り、区民に親しまれ信頼される区役所づくりに取り組んでいきます。



成果指標

指 標	直近の 現状値	目標値 令和5年度
窓口アンケートにおいて、窓口対応に「満足」と答えた人の割合	97.6%	100%
区政に関して知りたい情報が十分に得られていると思う人の割合	37.0%	45%



みどりっちプラン会議



緑区災害応急対策図上訓練

3 緑区 3つの重点プロジェクト



鳴海宿の高札場



有松の町並み



大高城跡の桜



桶狭間万灯会

豊富な歴史・文化資源

魅力の発信

- ・区外からの来訪者を増やします
- ・まちへの思いに一体感をつくり、

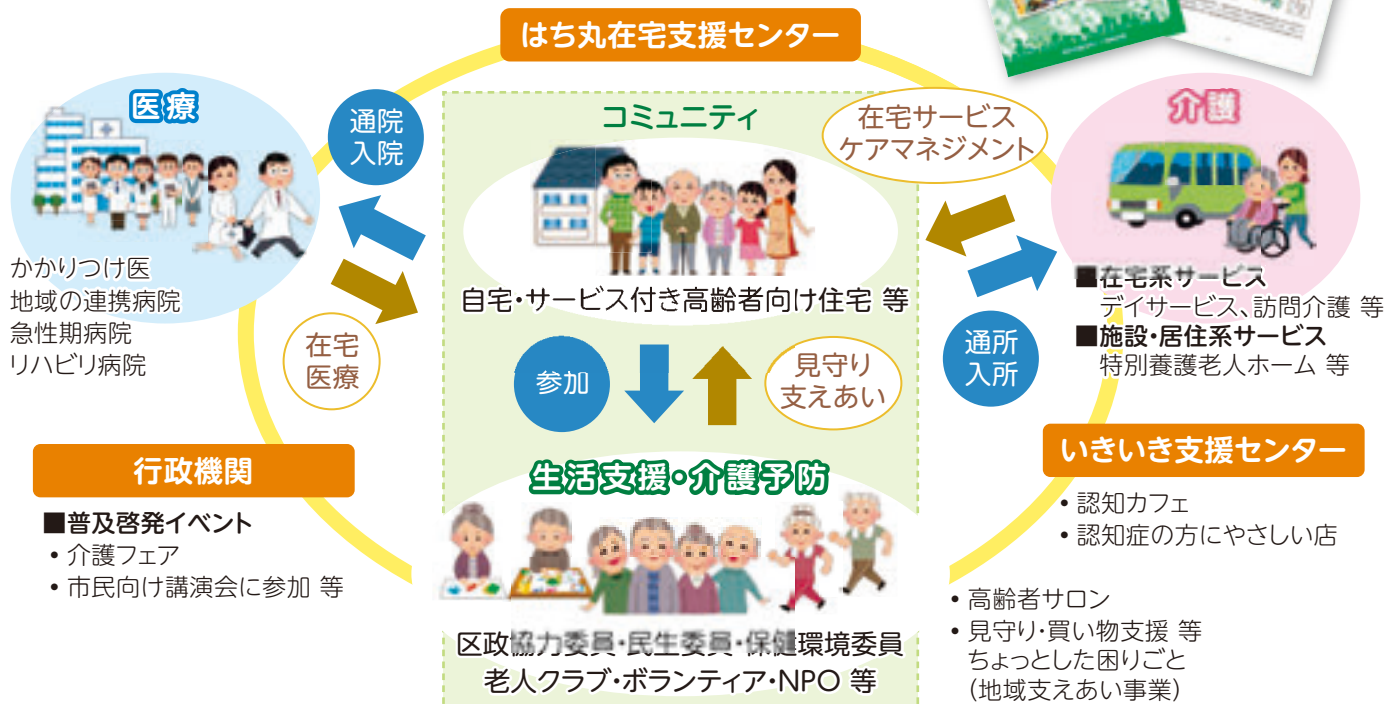


魅力発信のはじまり

- ・緑区観光推進協議会の設置
- ・みどりっちを活用したPR

緑区地域包括ケアの推進

- ・いつまでも安心して住み慣れた地域で暮らせるように、「緑区地域包括ケア推進プラン2019」に基づく取り組みをすすめます
- ・地域、各種団体、行政等と連携します





と観光推進

郷土愛を高めます



プロモーション映像の一コマ



戦略的な魅力発信

- 緑区の魅力を発信する冊子の作成
- 緑区魅力向上・発信シンポジウムの開催
- 緑区プロモーション映像の制作



セントレアなどにおける多角的なプロモーション活動

継続的・拡散的な魅力の発信

- 緑区の豊富な魅力を多角的に発信（緑区の魅力を発信する冊子やプロモーション映像の活用）
- 多様な主体との協働による魅力資源の磨き上げ

鳴海駅前市街地再開発事業完了後 の姿を見据えたまちづくり

- 「にぎわい」の核となるまちづくり(なごや集約連携型まちづくりプランの拠点市街地に位置づけ)
- 地域住民の意見を踏まえて関係機関と連携します

安心・安全

環境に
やさしい

地域の
絆づくり

協働の
推進

便利で
住みよい



鳴海駅前北側現況



鳴海駅前再開発事業のイメージ



令和元年度緑区区民まつりで「令和の時代の緑区がこうなったら良いな」
という緑区への想いや願いを絞りの布に書いてもらいました。



名古屋市緑区役所企画経理室

〒458-8585 緑区青山二丁目15番地

電話：(052)625-3898

FAX：(052)623-8191

E-mail：a6253898@midori.city.nagoya.lg.jp

「緑区将来ビジョン」は
ホームページにも
掲載しています。



[http://www.city.nagoya.jp/midori/
category/151-7-1-0-0-0-0-0-0-0.html](http://www.city.nagoya.jp/midori/category/151-7-1-0-0-0-0-0-0-0.html)

